

12/4
福

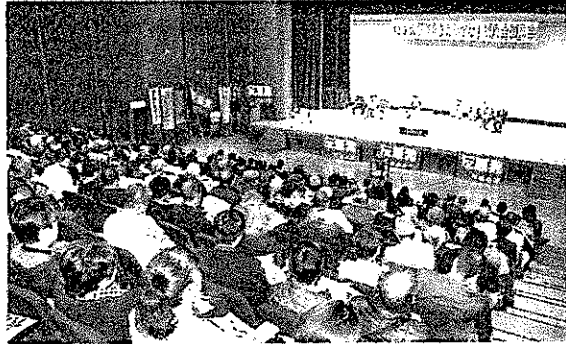
大飯再稼働に反対 県内外500人が集会

原発全廃決議を採択

関西電力が来年三月以降に計画している大飯原発3、4号機(おおい町)の再稼働に反対する集会が三日、同町総合市民センターで開かれた。県内外から約五百人が参加し、二基を含めた原発の全廃を目指す決議を採択した。

関西の市民団体などをつくる「大飯原発うごかすな!実行委員会」が主催。冒頭、若狭の原発を考える会

代表、木原壮林さん(七〇) 京都市が「脱原発、反原



壇上に立つ嶺南地方の住民から 原発反対の訴えを聞く参加者 におおい町総合市民センターで

発の声を顕在化させ、粘り強く原発全廃を勝ち取りたい」とあいさつした。

嶺南六市町の住民が壇上に立ち、原発の危険性や再稼働を容認した自治体の姿勢を批判。おおい町の僧侶、宮崎宗真さん(五〇)は北朝鮮による相次ぐ弾道ミサイル発射などに触れ「懸念が払拭されない限り、再稼働同意はありえない。福島事故の教訓はどこにいったのか」と語気を強めた。集会後は町内でデモ行進をした。

(米田怜央)